

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒

房総 鋸山－観光気分の寺域散歩－



浜金谷から見上げる鋸山

オトソ気分も脱けきらぬ1月中旬、誘われて房総・鋸山(330m)に出かけた。観光客向けのロープウェイがあるが、一応マジメに登山道を歩いて登り降りする企画に乗った。

JR 浜金谷の駅から街路を歩いて鋸山登山口到着が8時50分。準備体操をしている団体さんの間をすり抜けて、一足早く石段登りに挑戦する。20分間程も石段を登った所が観月台という公園風の小ピーク。伊豆大島から三浦半島、遠くは伊豆の山々や富士山が霞んで見える。前方を眺めると、これから登る鋸山の主稜線が正に鋸刃のようにオドロオドロシク迫って見えた。

少し下った後、今度は滑り易いナメ岩の道を登り、壮大な石切場跡を見物したりした後、両側の切り立った石段を手摺にすがりながら登ると日本寺北



百尺観音

入口。丁度10時。入山料600円。入って直ぐ左、見上げるような石壁に刻まれた百尺観音に拝礼。

ここから御影石造りの石畳の道になる。行き交う客の何と多いこと。ロープウェイ

で上がって来た人達だろう、家族連れが多い。10時15分、瑠璃光展望台。先程の観月台にも増して素晴らしい眺望である。展望所が幾つも設けられ、

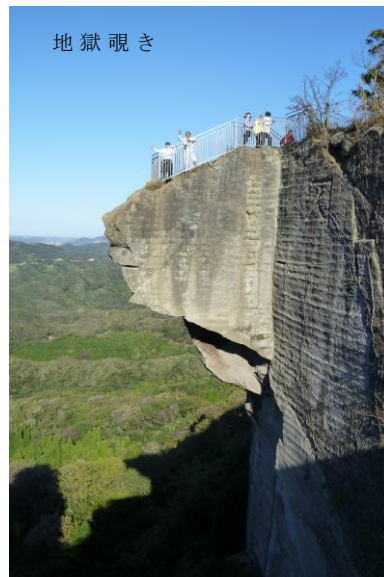
なかでも絶壁の上の「地獄覗き」などはなかなか面白い。

次いで、2万5千の地図を頼りに本物の鋸山最高点を目指す。瑠璃光展望台の下から立入禁止のロープを潜り、それらしい踏み跡を

辿る。雑木林の中を15分程で、ポコッと「新展望台」とかに飛び出した。ここも展望絶佳。何組もの客が弁当を拡げている。聞けば入山料を払わないで済む車力道コースからの登山とのこと。残念、知らなかった。

鋸山本峰へは、ここから更に尾根筋に沿い緩やかな登り降りを繰り返して11時、ようやく鋸山山頂三角点標に到達した。森閑とした狭い山頂は、さして展望も良くない。元のルートを引き返し12時、新展望台で昼食休憩にした。

下山は13時、千五百羅漢道を下る。西国観音、百体観音、あせかき不動、日牌堂、維摩窟、弘法大師護摩窟などを経て、日本一の大きさとかの大仏様を拝んだ後、仁王門を抜けて寺域を後にした。JR 保田駅到着が15時。電車を待つ間、駅前の寿司屋の熱カンですっかり出来上がった。今年も良い年になりそう。



地獄覗き



日本一大仏